

---

# 岐阜県立岐阜総合学園高等学校

学 校 長 高橋 幸平

学校住所 岐阜市須賀 2-7-25 電話 058-271-5548

---

1 会議の名称 岐阜県立岐阜総合学園高等学校 評議員会 (第2回)

2 会議の構成 委 員 (五十音順)  
奥村 正彦 様 (須賀西地区自治会長)  
佐藤 公治 様 (メットライフ生命コンサルタント部長)  
佐藤 昇子 様 (同窓会副会長)  
松野ゆかり 様 (平成医療短期大学講師)  
森本 浩一 様 (川崎重工株式会社)

学 校 側

高橋 幸平 (校長)  
牧野 雅則 (事務部長)  
岩崎 有子 (教頭)  
有賀 昭人 (教頭)  
岡田 心一 (教務主任)  
渡邊 誠 (生徒指導部長)  
片桐 一色 (進路指導部長)

3 会議の目的 学校運営について、地域の人々から幅広く意見を求め、地域に開かれた活力ある学校づくりを推進することを目的とする。

4 会議の開催 平成29年2月23日(木) 14:25~16:25 岐阜総合学園高等学校 校長室  
委員4人と学校側7人が出席

5 会議の概要

- (1) ライフプラン発表会見学
- (2) 校長挨拶
- (3) 各分掌より今年度の取組と反省
- (4) 全体会議
  - ・各分掌への質疑応答
  - ・学校への要望やご意見
- (5) 校長謝辞

6 会議の内容・提言等

[ライフプラン発表会見学]

本校1年次生が学習する「産業社会と人間」で、その集大成となる「ライフプラン発表会」を参観。

[全体会]

(1) 校長より

本日は、「ライフプラン発表会」を参観していただいた。本校は生徒の夢を大切にしながらキャリア教育を進めている。評議員の皆さんには、本校へのご要望や期待したいことについて、ご意見をお聞かせ願いたい。

(2) 各分掌より説明

教務部

今年度、公開授業週間を3回設け、自分の教科に拘わらず専門以外の授業を見学し、他教科で実施されている様々な授業方法を学ぶ機会を設けた。

来年度は「アクティブラーニングを取り入れた授業」を進めるため、先進的に実施している学校から事例を学び実践していきたい。

本校の特徴である、自分の進路に合わせて科目を選択できることについては、92%の生徒が好意的に捉えている。

課題は家庭学習の習慣化である。考査前にはそれなりの勉強時間が確保されているが、普段の家庭学習時間は極端に短い。特に2年生の勉強時間が短い。本校は部活動が盛んなこともあるが、家庭学習課題を与えて、家庭での勉強時間を確保したい。

#### 生徒指導部

凜として美しい身だしなみ、言動・姿勢で学校生活が送れるように指導している。身だしなみ指導を、年7回実施している。

交通事故の発生件数が、毎年30件を超えている。常に注意を呼び掛けているがなかなか減らない。今年度の傾向として、自動車側の不注意による事故が多かった。

遅刻数は大幅に減少した。問題行動も減少している。全体的に落ち着いた状況にある。

#### 進路指導部

ライフプラン発表会を参観していただいたが、ライフプランは生徒本人が成長すれば変わっていくので、中身よりも、どのように考え、どのように計画したらよいのか、そのプロセスを大切にしている。社会が変化しても対応し、活躍できる生徒を育てたい。

指定校推薦での進学は減少傾向にあるが、進学先への満足度は年々上がっている。

就職は例年40人程度が希望しているが、求人数が多く求人倍率は20倍である。県内就職を希望する生徒が多く、3年後の離職率も10%程度である。

#### (3) 評議員から意見・提言

委員A：ライフプランについて素晴らしい発表を聞かせていただいた。ライフプランは3年生でも見直すとのことだが、2年生でも見直すようにしたらどうか。

計画を立て、自分の現在の状況や、足りないところを確認することが大切である。

これは主体的にやらなければならないことである。そうすることでライフプランがよりよいものになり、ライフプラン実現に向けての主体的な取組がさらに増し、家庭学習や普段の授業への取組がよくなるのではないかと。

委員B：ライフプラン発表会を聞いて、素晴らしいと感じた。また、ライフプランは変化するものであり、そのために何が必要で、今何をすべきかということに訓練しているのだということが理解できた。

モラル、マナーについて、アンケートの結果から生徒と保護者の感覚が一致しており、しっかりと指導されていることがわかった。このことは社会に出たときに大切なことである。

委員C：ライフプラン発表会を聞いて、まだ1年生なので表面的なところもあるが、学年が進むにつれてより明確になっていくと思う。

公開授業週間を設けるなど、教師も指導力向上のための取組をしていることが理解できた。スマホについて、家庭の問題もあるが、取り上げるのではなく、ルールを決めて守らせるように指導する必要がある。

生徒指導部もきめ細かく指導しておられ、問題行動も少なくてよいと思う。

委員D：コミュニケーション能力や情報収集能力は社会にでると本当に必要な力である。情報を収集し、何が問題なのかを考え、計画を立てていく。そういった主体性のある生徒を育てて欲しい。会社で新人の教育をしていると、一番不足しているのはコミュニケーション能力であると感じている。是非しっかりと指導していただきたい。

これからは英語も必要になる。しっかりと勉強させて欲しい。会社の中でも試験がある。

専門外の会社へ就職しても、自分の学んだ専門知識は必ず役に立つ。卒業生が悩んだときに、学校で相談できるような環境があるとよい。

#### (4) 校長お礼の言葉

力強い励ましの言葉に心から感謝申し上げます。本校の教育方針のとおり、今後も頑張りたいと受け取らせていただいた。

常日頃から職員に話をしていただくことは、①授業の工夫・改善、②部活動指導の充実、③安全配慮義務の励行、④コンプライアンス意識の向上の4点である。この4点を柱にしながらかつ各教師が力を発揮するように指導している。

今回、多くの励ましの言葉をいただいたので、是非とも職員会議等で伝えていきたい。

本日は誠にありがとうございました。